

西区 区ビジョン基本方針

区の概要

《地理》

西区は信濃川及び関屋分水路以西に位置し、旧新潟市の坂井輪地区、西地区、黒埼地区を中心に構成されています。区内は鉄道沿線や幹線道路沿いを中心に良好な住宅地が形成され、南側一帯には農地と農村集落があります。また、河川、潟、海などの水辺が多く存在しているととも、大学などの学術研究機関も複数立地しています。

《産業》

商業活動が盛んな区で、区内には数多くの商業店舗が出店しています。農業分野では畑作が盛んで、くろさき茶豆や砂丘地で作られる新潟すいか、赤塚大根といった県内外に知られているブランド品を生産しています。また、高い技術力に裏付けられた黒埼の砂時計は、独特の存在感で高い評価を得ており、日本国内では有数の生産量で全国的に知られています。

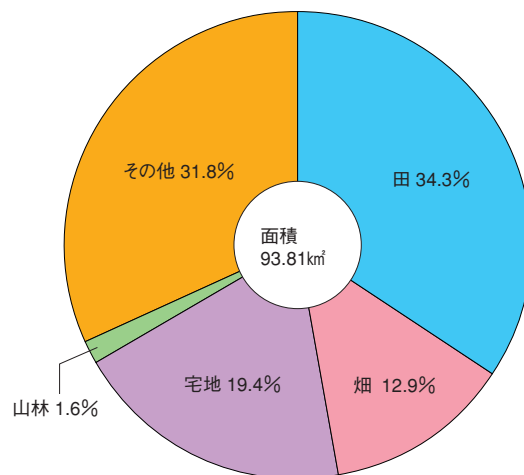
《交通》

主要な道路は、区の東側を南北に北陸自動車道が通っており、新潟西インターチェンジ、黒埼スマートインターチェンジがあるほか、国道8号、国道116号、国道402号が通っています。鉄道は、市街地を東西方向へ結ぶ形で、JR越後線の駅が7つ設置されています。バスは市中心部と結ばれた路線で主に東西方向に運行されています。



青山海岸

土地利用



※その他：道路、公共施設、水面、自然地など
(H19.1.1新潟市調べ)

《基礎データ》

項目	西区	
人口	総人口(人)	160,910
	男(人)	78,308
	女(人)	82,602
世帯数(世帯)	63,427	
農業	農家戸数(戸)	1,673
	農家人口(人)	9,028
	経営農地面積(a)	438,832
工業	事業所数(所)	102
	従業員数(人)	1,831
	製造品出荷額等(億円)	231
商業	商店数(店)	1,560
	従業員数(人)	13,579
	年間商品販売額(億円)	6,680

(出典) H17年国勢調査、H12世界農業センサス
H16年工業統計調査、H14商業統計調査

区の将来像

都市と農村が共生する、うるおいの居住環境と優れた学術環境に育まれるまち

区の担う役割

- 都市部と農村部が一体となっている区の特徴を活かし、都市と農村の相互交流を推進し、田園型政令市のパイロット役を担います。
- 新潟大学、新潟国際情報大学など、多数の学術研究機関が立地していることから、研究開発機能の中核拠点としての役割を担います。
- 佐潟・海岸など、豊かな自然環境と幹線道路・鉄道などの交通の利便性の両方を併せもつ地域の特性を活かし、環境に配慮し、自然を満喫できる憩いの場を提供する機能を担うとともに、快適な居住機能を担います。
- 利便性の高い交通網を活かし、流通関連機能を担います。

目指す区のすがた

《すべての区民にやさしいまち》

- すべての区民が個性・能力を発揮し、安心して生活でき、だれもが暮らしやすいまちを目指します。

《都市と農村が共存するまち》

- 本市を代表するブランド農産物を産出するなど、高収益農業を推進します。また、都市と農村がバランスよく共存する、環境にやさしいうるおいのまちを目指します。

《学術と文化のまち》

- 産学官民が連携して、地域性を活かした研究を積み重ねることで、本市のまちづくりをより豊かにする有益な情報を発信していくまちを目指します。また、地域のリーダーや未来の担い手である子どもたちなどが育つ、学官の連携を活かした地域特性のある生涯学習活動を進めるまちを目指します。

《海辺とラムサールのまち》

- ラムサール条約湿地である佐潟など、美しい水辺の保全を図りながら、人と自然が豊かにふれあい、やすらぎを感じられるまちを目指します。
- 夕日の美しい海岸部においては、砂丘地や松林の保全に努めるとともに、マリンスポーツなど海洋性レクリエーションの好適地として海水浴場をはじめとした海浜空間を整備し、都市に調和する自然豊かなまちを目指します。

《優れた居住環境のまち》

- JRや幹線道路などの交通の利便性のさらなる向上を図るほか、環境対策や災害対策を進め、安心して安全で快適に住むことのできるまちを目指します。



日本海夕日コンサート

まちづくりに向けた施策の方向

(1) すべての区民にやさしいまちづくり

①だれもが暮らしやすいまちづくりの推進

区民一人ひとりが協力し合い、障がい者や高齢者なども積極的に社会参加できる、人にやさしい福祉に配慮したまちづくりを進めます。

区の宝である子どもたちの安全を守り、健やかな心を育てる環境づくりを進めます。

(2) 都市と農村の共存

①都市部と農村部の交流の推進

安心・安全な地場農産物を、地元消費者に対し積極的に提供する機会の拡大に努め、消費拡大と食育の推進を図ります。また、特色ある農産物や特徴的な景観を活かし、都市と農村との交流を進め、相互理解を深めます。

②農産物のブランドイメージの確立

特産のくろさき茶豆などの農産物の振興と地元や全国の消費者へのPRに努め、全国ブランド化を図ることにより、区への誇りや愛着を高めます。



③商工業の振興

赤塚大根などの地場農産物を使った加工食品の開発や地産地消を進めるとともに、商店街の活性化により、活気のあるまちづくりを進めます。

(3) 学術と文化のまちづくりの推進

①学官と地域の連携推進

新潟大学・新潟国際情報大学などとの連携をより一層推進し、学官と地域住民が一体となった生涯学習活動を進めます。



新潟大学キャンパス

①文化財に親しむゾーンづくり

黒埼地区に埋蔵文化財の保管・展示・活用施設を整備します。また、同敷地内に古い民家を活用した民俗資料の展示施設を移築し、埋蔵文化財と民俗資料を一体的に活用して楽しめる空間を創出します。

②地域ぐるみの教育活動の推進

地域課題解決に取り組むコミュニティ協議会などの団体、学校・社会教育団体及び住民と連携し、地域ぐるみの教育活動を推進します。

(4) 自然環境の保全と活用

①河川・海岸の保全と活用

河川の汚濁防止や水害対策，海岸侵食の防止対策を推進します。また，松くい虫の防除などを実施し，貴重な緑地空間である保安林の機能増進を図ります。

海水浴はもとより，散策，休憩，イベント，レクリエーションの場として，だれもが集い憩える海浜空間の創出を図ります。

②佐潟などの保全と活用

ラムサール条約湿地である佐潟の自然環境を計画的に保全し，賢明な利用を図るため，各種調査などを継続実施し，基礎情報の蓄積や市民啓発を促進します。

(5) 快適な住環境

①公園の整備

市民が運動やレクリエーションを楽しめる空間として，黒埼地区の運動公園整備や赤塚埋立処分地跡地を利用した総合的な公園整備を行うなど，市民に憩いの場を提供します。

②防災拠点の機能強化

平成19年度新設の消防署を西区の防災コミ

ュニティの拠点と位置づけ，区民との協働による地域の防災力の強化を推進し，災害の未然防止や災害時における被害の極限防止に取り組みます。

(6) 交通の利便性の向上

①交通の利便性の向上

黒埼スマートインターチェンジの常設化に伴う付近道路網の整備による，高速道路の利用促進や，国道402号バイパスや地域を南北に貫く道路など，利便性の高い道路の整備を進めます。また，駅周辺整備などにより，鉄道の利便性及び安全性の向上とバス路線とのアクセス機能の向上を図り，環境にやさしい交通体系を整備します。

区役所・病院などの公共施設が利用しやすい，公共交通網の整備を図ります。



佐潟

◆ 区の概況図 ◆

